

佳作

## 私の自まんの おじいちゃんおばあちゃん

茨城県常総市立岡田小学校三年 梅澤 蒼依

私の家から少しはなれた市に住むおじいちゃんとおばあちゃんは、私が遊びに行くといつもそばに二人なかよくならんでいて、

「あおい、よく来たね。今日も元気一ぱいだ。あおいにはいつも元気をもらえてうれしいよ。」

とおじいちゃんのむねポケットからはいつもポチブクロに入れたお小づかいをくれます。

「ありがとうございます。」

と言うと、おじいちゃんは私の頭をくしゃくしゃなでてくれます。料理がとく意で、笑うと両ほほに笑くぼが出るかわいいおばあちゃん。けんちく家で、まほうの様に物を作る名人のマイスターでかっこいいおじいちゃん。私にとっておじいちゃんとおばあちゃん二人は、とても自まんで世界一大好きなのです。

一年前おじいちゃんは、右足に血液がたまって流

れなくなる病気で右足ひざ下から切だんしました。おじいちゃんには笑顔が消えました。切だんしてなくなつた自分の足に手をあてながら目からあふれるなみだがぼつん、とながれるおじいちゃんを見ると、私は息がでないくらいむねが苦しくなり、その場からかけ出して体を小さく丸めながら、声を出さない様に口に手をあてて泣きました。

おじいちゃんは持ち前の負けん気で「ぎ足」というそう具をつけて歩く練習のリハビリを毎日一生懸命にして、おばあちゃんの支えと一しよに今ではつえをつきながら、一人でも歩ける様になりました。前みたいに高い所での仕事はできないけど、少しずつ手作業や野さい作りもできる様になりました。おじいちゃんがリハビリでさん歩へ行く時は、私もついて行きます。おじいちゃんが転ばない様に見守りながら、たまに支えてあげながらゆっくりゆっくりおじいちゃんの歩はばに合わせて歩きます。私が小さい時から色んな場所に遊びに連れてもらったり、じょうだんを言って家ぞくみんなを笑わせたり、高い所でしんけんの仕事をするおじいちゃんのすがたは、私の心の中のアルバムに今でもはつきりこのっています。時どきつらそうな表じょうをする時もあるけど、少しずつ元気をとりもどして前進するお

じいちゃんは、世界一かっこいいスーパーマイスターです。

「あおいにお小づかいをあげられる様にじいちゃんがんばるからな。あおいの元気をじいちゃんに分けてくれよな。じいちゃん、がんばって生きるから。」

と笑顔で、また前みたいに私の頭をくしゃくしゃなでてくれる様になりました。私もうれしくて、むねがくすぐったくなりました。

おじいちゃん、いつもやさしくしてくれてありがとう。びょう気にかつてずっと元気でいてね。笑くぼの出る笑顔のかわいいおばあちゃん。いつもおいしい料理をありがとう。おじいちゃんもおばあちゃんも私の自まんの世界一のスーパースターです。ずっと元気で長生きしてね。いつもありがとう、大すき！